

おひい図書館

No. 98 発行
 代表 おひい図書館
 青木 和子
 松戸市牧の原 1-10-416
 TEL 0473-311-0886

古文書を愉しむ

伊藤 和子

美術展や歴史展に出品されている名文を覗いた時「これがもつとよく読めたらなあ」と、残念な思いをされた方は多いと思います。そんなところから、古文書に対する興味と関心が湧いてくるものらしい。でも古文書なる物を見せられると「何?この難しい字ノ読めやしない」となる訳です。

しかし、外国語ではなし、高々200年くらい前の御先祖たちが読み書きした文章ですから、全然判らない筈はないのです。「習うより慣れろ」で、教多く触れている内に読めるようになります。

私は勉強を始めたのが遅かったので、覚えるより忘れる方が早くて悲しくなります。それでも、どうしても読めなかつた字がある日フツと読めた、その一字の所為でよく判らなかつた文の意味がスーと頭の中へ入った時の一瞬の喜びは格別です。

嵌はまってしまふ人の多いのも宜いなるかな。

リタイア組の趣味として、古文書は良いと思います。あまりお金がかからない。一人でもコツコツやれる。仲間と読み合うのも楽しい。不明の文字一つを巡めぐって喧けん々けん諤がく々とやり合う中で解説かいせつできた時の嬉うれしさは、また一入いっしゅ。

幸いなことに、日本は、江戸時代(近世)の古文書が大変多く残されています。

武家はもちろん、農工商すべて字が読めなくては暮しが成り立たない仕組でしたので、工商の家の子供たちは寺小屋・塾等で読み書き・算盤そろばんを習い(その教材も多数現存)、農民といえども、字は必須でした。

ちなみに、百姓という身分は、年貢を納める事ができる田畑を持つ地主階級であつて、けつして、農奴のうどではありません。日本に革命があるといふ説もあります。なるほどと思います。

それは扱あつかひ、人口の大半を占める農民を支配する手段として使つたのが文書であり、検地・年貢・河川修理(普請)・禁令・お達し・訴状等、諸々の文書(村方とか地かた文書といふ)で世の中は動いて

いました。

また、それ等は、大半を名主が襲蔵していたため、龐大な数が残されています。

商でいえば、参勤交替制度・陸水運業の発達により商取引は日本中におよび、物産を運ぶルート、つまり、現代の宅急便の基礎は、すでに江戸時代から培われていたのです。

日本は、明治維新・1945年の敗戦と、二度も、前の時代を否定してきたので、歴史がそこで途切れたような感覚があります。国破れて山河あり——生き残った人々は、日常の暮しを取り戻すべく必死に働いてきた訳です。(主食の配給が月に3日分しかなくても)戦後、焼野原から、あんなに速く復興できたのも、江戸時代の、特に工人の技能・知識等文化遺産の蓄積があったからだと思います。以下の文は、大学の先生の受売

ですが「眼からウロコ!」でしたので、ご紹介します。

江戸時代の約300年間、日本は一度も外国へ軍隊を出していない。外国の食糧を奪い取った事がない。それなりにこの狭い山地の多い国土の中で、江戸時代後期には6千万にも増えた人口を養い得たのはなぜか?

それは完全な循環型生活システムを造り上げ、ゴミを出さない、生産された物はすべて土に戻す、排泄物・灰等も肥料として再生産される、という風に無駄のない暮しをしていたからだ。それも平和であったからこそ続けられた。軍事費という予算が不要だったから。』

毎日龐大なゴミを出して環境を悪化させている現代の日本人としては耳を傾けざるを得ません。

「江戸時代の人は、どうやって

ゴミを出さずに暮していたのか?」——あの時代の工夫や知恵を知る事は、これからますます必要になってくる筈です。そのためにも古文書が読めると人生の愉しみは増えると思います。——雑文多謝

投稿

「イラクからの報告」雑感



伊藤 和子

安田純平氏(フリージャーナリスト)のお話を聞きました。彼は例の3人の人質事件の後、取材中に拘束、釈放された。

報道機関から派遣された記者達

には、自由な行動は許さず、指定されたホテルに泊り、移動はバス。報道規制は当然行われる。

事実を報道していると言うのが、メディアによって、真実が伝わると思うのは非常な間違い。報道されたものがすべてではない。見る人も、そこをよく考えて欲しい、と。

つい60年前も、どこの国でウソ八百を流す事を「大本営発表」と言っていたなあ、と思い出しました。日本人は忘れっぽいのでし
ようか？

じゆうたん爆撃を浴びて火の海の中を逃げ回っていた私たちと、現在のイラクでの悲惨な状態と重なって、とても正視できません。いつだって、ひどい目に逢わされるのは、女・子供・年寄など無力な人たちですものね。

だから、少しでも真実を伝えたいと思ったら、自分の目で確かめるより仕方が無い。危険な地域だ

と判っていても、ジャーナリストたちは、入って行かざるを得ない。——ほんとにそうだと思います。

何が自己責任？責任を取らなくてはいけなのは、ウソばかりつく政府の方ではないのか？と、言いたい。

自衛隊のイラクにおける人道復興支援という言葉だけが浮揚していて、ちつとも支援にはなっていない、と。サマワの人たちが望んでいたのは、求人対策であり、破壊された町を自衛隊の機械力と自分たちの労働力で復興したかった訳でしょう？そうしてあげたら、どんなに喜ばれた事だろうに！私達の税金もチットは有効に使われたと思えただろうに！

給水事業をしたと言うのが、新たに井戸を掘るとか、給水源を増やすとかの発想は無かったら

しい。すでにフランス軍が造った給水施設に補助金を出して水を分けて貰い、浄水だけしている。しかもその半分は隊自身が使っているという話には笑ってしまいました。370億円もかけて派遣しておいて、引きこもり中とは！あまられて
しまします。

とにかく、小泉首相という人はブッシュに対して「確かに派遣しましたよ。撤退はしませんよ。」と証明したいだけなのか？何んという愚かで危険な指導者を選択してしまっただのか？と、ゾツとします。基地の近くに弾丸が撃ち込まれるというのも「早く撤退せよ！さもないと本当に全滅させるぞ！」という威嚇行動ではないでしようか？そんな気がします。

目隠をされて居を転々とした3日間の事も、仔細に話されました。丸腰であった事が、助かった理由で、もし銃を持っていたら、文

句なしに殺されていた！ドイツやオランダの記者が殺されたのは、銃を持っていたからだ、と。

一日目も、二日目も民家へ連れて行かれ、年寄り子供の声があったので、ここで殺されることは無いな、と、思われた由。

イラク人は、子供を学校へ通わせられる家庭なら小学生から英語を話せるので、「空手ができるか？」と聞かれて真似事をしたりして、あんまり恐い思いはしないで済んだが、三日目は武装グループのキャンプへ連行され「殺せ！」という声も聞こえて観念した。が「どういふ訳か殺さんなかつた」と、苦笑してらした。

だから、私達も、こんな貴重なお話が聞けた訳ですな。

「日本人だって、政府の態度に反対して抗議行動を起こしているグループがたくさん有る」と説明された由。(幹部には、判ってい

たのかもしれない。)

もともとイラク人には親日家が多い。第一次湾岸戦争の前まで日本企業が多数進出して良い仕事を残して行ったので、好かれていたそう。へ私の身近にも、何人かいました。

イラク人は日本人とビジネスをしたいと思っている、それなら平和的な良い関係が保てるのではないか？何も憲法を捻じ曲げてでも戦争に加担する理由はない！と憤っている訳です。



後記

10月定例会で、伊藤さんから古文書について話して頂きまし。先人が残した膨大な量の古

文書は、歴史の貴重な証人であり情報の宝庫なのですな。

その昔、アレキサンドロスの遠征に始まるヘレニズムの時代、エジプト・アレキサンドリアに建設された大図書館には、パピルスで作られた書物が50万巻も収められていました。これは古く古文书といえるでしょう。

その後この図書館はローマの力エサル(シーサー)によって破壊されましたが、近年、ユネスコの支援で、近代的な大図書館が再建されました。

また此の度のアメリカによるイラク攻撃の際、焼失から守るためバグダッドの図書館からはかなりの資料が運び出されたといえます。ここでもまた、図書館の役割と共に、失ったものの大きさを思えます。そして図書館の価値が広く認知されている国々との彼我の差を痛感します。